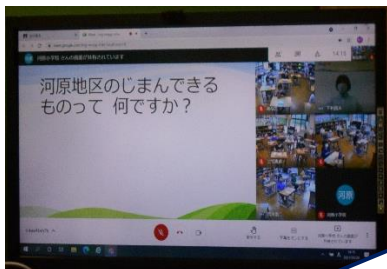


「大好き!かわはら」タイム!



3年生から総合的な学習の時間が始まります。「総合的な学習の時間」がはじまっておよそ20年が過ぎました。総合的な学習の時間は「変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる」学習です。もっと言うなら、子どもたちが自分が知りたいこと、やりたいことを学んでいく学習のことです。自分たちの生活の中の「?」から課題を見つけ、友だちや周りの人と協力して解決していく学習です。学習していく中で、また新しい課題が出てくるといいうわくわくする時間です。実社会では正解はいつも一つとは限りません。立場や状況によってものの見方もかわります。正解のない課題、困難な課題に出会った時、あきらめたり投げ出したりするのではなく、自分なりの解決の方法を探し出し、立ち向かっていく力を身に付けさせるためにも「総合的な学習の時間」は重要です。「総合的な学習の時間」は年間70時間ありますが、その中の35時間を学年の枠を取り払い、3年生~6年生まで一緒に学習をしていく異学年交流の学習を行います。これは河原小だからできる学習です。河原のよさを見つけ、そこから自分たちの興味のあることについてチームに分かれて学習していきます。上学年はチームのリーダーとして一層の自覚が生まれ、下学年は上級生に対する憧れの気持ちが芽生えます。協働による自覚や成長の実感が更なる学びに向かわせます。また、社会に出れば年齢や世代の違う者同士が意見を交わし合い、協力し合うことが自然であり、子ども時代でも異年齢の友だちから学ぶことは多いはずです。勿論そこには教師の関わりや仕掛けが必須です。全職員でこの新しい取組に挑戦します。全職員の知恵とスキルと情熱で、協働しながら「大好き!かわはらタイム」にチャレンジします。そしてその成果を何らかの形で保護者の皆様にも紹介したいと思います。子どもさんに時々話を聞いてみてください。



初回は密を避け、オンラインで意見交換しました



- 歴史コース
- 植物コース
- 名所コース
- 生き物コース
- 食べ物コース

子どもたちの興味・関心により5チームできました!いよいよスタートです。

あいさつ運動展開中!

学校HPでも紹介しましたが、企画委員会の子どもたちがあいさつ運動に取り組んでいます。はじめたすぐはちょっと恥ずかしいのか・・・声もいまいち、登校してくる子どもたちの声もいまいち・・・でした。しばらくすると、正面玄関前に並び、爽やかに、元気な声で挨拶運動が展開されるようになりました。迎える側の声も元気で明るいと、登校してくる子どもたちの声も明るく元気になりました。「つながる力」「やりぬく力」が身に付き、明るい挨拶が響き合う河原小となるような自主的な取組、素晴らしいと思います。

